

# ハナミズキ便り

新年号 平成30年1月発行

## ご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

新しい一年が始まりました。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、今年の干支は「戌年」ですが、戌年の『戌』は、『良犬』のことを指しており、12支の中で最も誠実であると言われ、尊敬する上司や同僚に対して忠実に従い、確実にこなしていくので、厚い信頼を得ることができるようです。また、戌年生まれの人は、器用で我慢強く、人情深い反面、怒りを内側に溜め込んでしまい、精神的に疲労しやすいとのこと。戌年の皆様、当たっていますでしょうか？

私が今回、戌年の人の特徴を知って最初に感じたのは（スタッフには悪いのですが）、戌年のスタッフばかりだったら、どれだけ仕事が楽だろうかという思いでした。でも、すぐにその思いは変わり、別の考えが浮かび上がりました。万が一、戌年の人ばかりの職場だったら、リーダーシップを取って、みんなを引っ張ってくれるようなスタッフは育ちにくいのではないかと考えた時、私はスタッフにとっても恵まれていると実感しました。

人というのは生きていく限り、必ず誰かに頼って生きています。“俺は一人で生きてるぜ！”と意気込んでいる若者がいたとすれば、それは“社会”という手の平の中で泳いでいることに気付いていないだけでしょう。職場での私の存在は、立場上、スタッフのおかげで成り立っているようなものです。もちろん色々な考えのスタッフもおおり、考えや立場の相違からぶつかることもあります。しかし、いざとなった時のチームワークの良さといったら、手前味噌ですが、素晴らしいものがあります。そういうスタッフの成長を支え、また支えられながら今の私がいると思えます。戌年の人だけが良い部下ではないことを、スタッフが証明してくれていると気付いた時、あらためて私は幸せ者だと感じました。

今年も、ホーム下新倉をご利用下さっておりますご利用者様、ご家族様をはじめ、地域の皆様や関係者の方々、ならびに我がスタッフにも支えてもらいつつ、その分、いやその倍以上の恩返しができる一年にしたいと思っております。

今後ともよろしく宜しくお願いいたします。

ホーム下新倉 管理者 田口 友彦